

*FirstGlobal* メッセージ

# siesta

2018.7月号 vol.182

発行元：〒540-0012

大阪府中央区谷町1-6-4

天満橋八千代ビル10階

(株)ファーストグローバルコンサルティング

代表取締役

戦略人事コンサルタント 品川典久

TEL 06-6910-3007 FAX 06-6910-3008

Email [shinagawa@1gc.jp](mailto:shinagawa@1gc.jp)

URL <http://www.1gc.jp>

## 今月のトピックス

### 日大アメフト問題

今テレビのスイッチを入れると、この話題をやっていない日はありませんね。ご存知の通り「日大悪質タックル事件」です。事件があったのが、5月6日ですので、ほぼ1カ月が経過しますが、まだまだ終息に向かう気配がありません。近々日大アメフト部の現役部員が声明を発表する、とも言われていますし、まだまだ続きそうですね。もういい加減にしてくれ、と飽き飽きしている方もいらっしゃるでしょうが、本件は、単なる一選手がルールを犯してやったプレーの話にとどまらず、有事の危機管理対応力、組織マネジメント、教育、権力構造、パワーハラスメントなど、含有されている要素が盛りだくさんです。また先月のテーマでもあった「コミュニケーション不足」という問題も出てきます。当事者の前監督、前コーチの発言とタックルをした選手の言い分が食い違っていますが、ほとんどのメディアは前監督側が嘘を言っている、と決め付けて総攻撃しています。私は一番この点が気になっています。本当に嘘を言っているのだろうか？選手側の会見の発言や状況証拠から、おそらく嘘を言っているのでしょうか、「私が間違いなく指示しました」と言わない限り許してもらえない、袋叩きの状況はとても怖く感じます。そもそも初動の対応が遅く、ここまでの状況になることを予想できなかった、大学側が悪いのでしょうか、大学やアメフト部などのこれまでの運営方法は今に始まったことではありません。前コーチが大学職員への就職をあっせんしてくれたから前監督に恩義を感じている、ことがあたかも悪いような報じられ方もされています。先日、被害に遭った関学大側の記者会見のネット中継をそのまま最後まで聞いていましたが、報道陣も明らかに同じ質問を繰り返す場面もありました。立場的にはマスコミが好意的な関学大に対しても、そんな状況でした。そらっ、日大の記者会見の司会役をした広報部顧問も怒るわ、って感じでした。しかし顧問が怒っている場面しか放映されませんし。メディアに出てくる報道はあくまで真相の一部で、決してすべてが真実ではありませんもんね。ご注意ください。

## < next >

6月は「働き方」「働かせ方」に関する裁判（ハマキョウレックス事件、長沢運輸事件）の最高裁判決が控えており、この判決の動向によって、お客さんへの物言いが変わりかねません。要注目です。